

分野 11. ライフステージに応じたがん対策

●ロジックモデル



●指標リスト

標番	指標名	指標内容	SPO	情報源	現状値	目標値
11-F01	小児がん患者の5年生存率	小児がん患者の5年生存率	O	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(10年相対生存率およびサバイバー5年相対生存率)		
11-F02	AYA世代で発症したがん患者の5年生存率	AYA世代で発症したがん患者の5年生存率	O	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(10年相対生存率およびサバイバー5年相対生存率)		
11-F03	これまでの治療に納得している患者の割合	「これまでの治療に納得している」と回答した患者の割合 (世代別切り出し)	P	厚生労働省患者体験調査 成人問20-10(から抽出)		
11-F04	必要な教育を受けている、と感じている患者・家族の割合	—	O	—		
11-F05	自分らしい日常生活を送れている患者の割合	「現在自分らしい日常生活を送れていると感じる」に対し、とても/ある程度そう思うと回答した患者の割合(世代別)	O	厚生労働省患者体験調査 成人問35-7		
11-M01	アドバンスドケアプランニングの実施数	—	P	—		
11-M02	妊孕性について説明を受けたAYA世代の患者の割合	最初のがん治療が開始される前に、「医師から治療による不妊の影響について説明を受けたか」に対し、説明はされていない～説明を必要としていた、と回答した患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問16		
11-M03	教育の両立に関する支援を受けた小児患者の割合	治療中に、学校、教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査(小児問39)		
11-M04	家族の悩みを相談できる場所があると思う患者・家族の割合	「がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分ある」に対し、とても/ある程度そう思うと回答した患者の割合	P	厚生労働省患者体験調査 成人問30-2		